EPSON

CP-80Z
ユーザーズガイド

■ 本書はすぐに取り出して見られる場所に保管してご活用ください ■

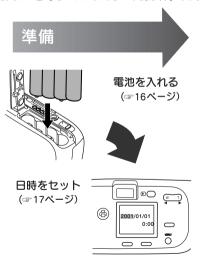
4014406-01

XXX

はじめに

事故やけがを防ぐために、「安全にお使いいただくために」（☞1 ページ）をご確認ください。

このたびは、EPSON CP-80Z をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
電池を入れ、日時をセットしたら、準備は終了です。後は、簡単な操作で高画質な画像を撮影できます。

準備

撮影（☞19ページ）

安全にお使いいただくために

- 本製品、同梱品、およびオプション品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および製品添付の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠危険 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠警告 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠注意 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、カメラ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

注 意

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。

内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

：この記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。

：この記号は、分解禁止を示しています。

：この記号は、ぬれた手で製品に触れることの禁止を示しています。

：この記号は、製品が水にぬれることの禁止を示しています。

：この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

安全上のご注意

⚠危険

電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に直接接続しないでください。

電池の⊕と⊖を針金などの金属で接続（ショート）したり、金属性のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち歩いたり保管したりしないでください。

電池の液が目に入った場合、皮膚、衣服に付いた場合には、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
すぐに本体から電池を抜いて、またオプション使用時には電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。
けがや感電、火災の原因になります。

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください（オプション使用時）。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください（オプション使用時）。
感電の原因になります。

開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因になります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
すぐに本体から電源を抜いて、またオプション使用時には電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

破損した電源ケーブルを使用しないでください（オプション使用時）。

感電・火災の原因となります。
電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源ケーブルが破損したら、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

電源ケーブルのたこ足配線はしないでください（オプション使用時）。

発熱し火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。

雷の元で使用しないでください。

感電の原因となります。

太陽や強い光に向けて撮影しないでください。

目に傷害を起こすおそれがあります。

電源プラグの取り扱いには注意してください（オプション使用時）。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根本まで確実に差し込む

カメラを人（特に乳幼児）の前に近づけて撮影しないでください。

目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください（電源を切ってください）。

引火、爆発の原因になります。

歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。

転倒、交通事故などの原因となります。

小さなお子さまの手の届くところには、保管、放置しないでください。
ストラップが首に巻き付いて窒息したり、電池を飲み込んでしまうおそれがあります。

LCDモニタが破損した場合､中の液晶には十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合
  付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。
- 目に入った場合
  きれいな水でよく洗い流し､最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合
  水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

電池の㊉㊀の向きを逆にしてカメラに入れないでください。

電池の外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。

乾電池は充電しないでください。（2次）充電池は専用の充電器以外で充電しないでください。

新旧電池、別の種類、別の銘柄の電池を混ぜて使わないでください。

電池が液漏れしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。

⚠注意

本製品を落としたり､ぶつけたりしないでください。
落ちたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。

不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

本製品の上に載ったり、物を置かないでください。
特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。
倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。

連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください（オプション使用時）。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。

布団などで覆った状態で使用しないでください。
熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。

使用上のご注意

本製品は、以下の環境で使用してください。

- 温度　5℃～35℃（動作時）
  -20℃～60℃（保管時）
- 湿度　30％～80％（動作時、非結露）
  10％～80％（保管時、非結露）

本製品を落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。動作不良や故障の原因となります。

テレビ･ラジオに近い場所では使用しないでください。本機は、情報処理等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合していますが、微弱な電波は発信しております。お近くのテレビ･ラジオに雑音を与えることがあります。

はじめに

本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因になりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
湿度変化の激しい場所	火気のある場所	水にぬれやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房器具に近い場所	振動のある場所

LCDモニタについてのご注意

- 一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがあります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- LCDモニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。
- AMラジオやチューナーの近くでは使用しないでください。雑音電波の影響を受けることがあります。

撮影できなかった場合のご注意

本製品やオプションのソフトウェアを使用中、万一これらの不具合により撮影できなかった場合、撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。大切な撮影の前には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に動作することを確認してください。

著作権についてのご注意

書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内のその他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。そのような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

困ったときは

付録

サービス・サポートのご案内

本書中のマークと表記について

マーク

本書中､いくつかのマークを用いて重要事項を説明しています。マークの付いている記述は、必ずお読みください。なお､それぞれのマークには次のような意味があります。

注 意 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、カメラ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

ポイント ：お取り扱い上､必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。

用語※ ：分かりにくい用語の説明を記載しています。

☞ ：関連した内容の参照ページを示しています。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版/Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版/Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows 2000、Windows Me と表記しています。また、Windows 98、Windows 2000、Windows Me を総称する場合は［Windows］、複数のWindowsを併記する場合は[Windows 98/2000/Me]のようにWindows の表記を省略することがあります。

Microsoft､Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、iMac、漢字 Talk、AppleTalk、QuickTime は Apple Computer Inc. の商標または登録商標です。

CompactFlash(コンパクトフラッシュ)はSanDisk Corporation のトレードマークであり、CFA(CompactFlash Association)にライセンスされています。

DPOF は､「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット､DPOF」に従った製品であることを示すもので､キヤノン株式会社､イーストマンコダック社､富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書Version1.00 に対する著作権を保有しています。

DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera Filesystem」の規格略称です。

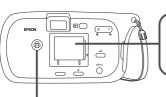
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

CP-80Z の特長

有効画素218万画素CCD、光学2倍ズームレンズ搭載

1800 × 1200 ピクセルの高画質な画像を実現します。光学2倍ズームと撮影時2.5倍まで拡大可能なデジタルズーム機能を搭載しています。

Hypict2 で高画質

ハイパー撮影で、エプソン独自の画像処理技術Hypict（ハイパーピクチャテクノロジー）を改良した、記録画素311万画素、2160×1440ピクセルの高精細な画像を撮影可能です。

簡単に楽しくカメラを操作

ユニークで分かりやすいインターフェイスを採用しました。

PRINT Image Matching対応

対応するプリンタで印刷すると、撮影時に意図した通りの、最適な色合いで印刷することができます。

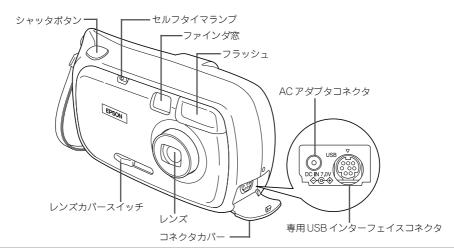
プリントボタンを押すだけで印刷枚数も簡単設定

撮影後すぐにカメラで画像を確認しながら、印刷枚数を設定（DPOF対応）できます。エプソンプリンタPM-790PTを使うと、コンピュータがなくても印刷することができます。

コンピュータで簡単活用

オプションの「パソコン接続キット」を使うと、高画質・大容量の画像でもストレスなくコンピュータに高速転送し、画像を管理・閲覧することができます。印刷するためのソフトウェアも同梱されています。

各部の名称

前面

注意

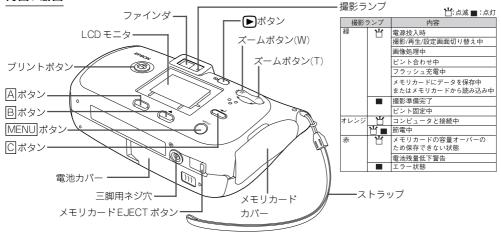
- フラッシュを手で触らないでください。
- フラッシュが汚れていたら、乾いた布で汚れを拭いてから、撮影してください。
- セルフタイマランプの横に周囲の明るさを測り、フラッシュの光量を調節するためのセンサーがあります。撮影時に手でふさがないようにご注意ください。
- ACアダプタコネクタには、専用のACアダプタ（型番：CPAD4）以外は接続しないでください（☞62ページ）。

背面 / 底面

ファインダ
撮影ランプ
LCD モニタ
▶ボタン
ズームボタン(W)
ズームボタン(T)
プリントボタン
A ボタン
B ボタン
MENU ボタン
C ボタン
電池カバー
三脚用ネジ穴
メモリカードEJECT ボタン
メモリカードカバー
ストラップ

：点滅 ■ ：点灯

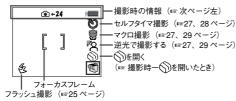
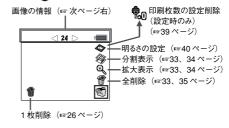
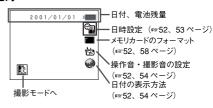
撮影ランプ		内容
緑	点滅	電源投入時
		撮影/再生/設定画面切り替え中
		画像処理中
		ピント合わせ中
		フラッシュ充電中
		メモリカードにデータを保存中 またはメモリカードから読み込み中
	■	撮影準備完了
		ピント固定中
オレンジ	点滅	コンピュータと接続中
	点滅 ■	節電中
赤	点滅	メモリカードの容量オーバーのため保存できない状態
		電池残量低下警告
	■	エラー状態

ポイント

本カメラには A ボタン、B ボタン、C ボタンの表示はありませんが、本書では上記のように A ボタン、B ボタン、C ボタンとして説明しています。

LCD モニタに表示される情報について

LCDモニタには、カメラの機能を表すアイコンが表示されます。設定するとLCD モニタの左に表示されます。

撮影時ー を開いたとき

撮影時ー を開いたとき

再生時ー を開いたとき

設定時

LCD モニタ上部に表示される情報について

ＬＣＤモニタ上部には、日付や撮影時の設定、画像の情報などが表示され、設定した内容を確認できます。

撮影時

表示	内容
2001／01／01※	日付
←24※	撮影可能な残り枚数
	セルフタイマ撮影(☞27､28 ページ)
	マクロ撮影（☞27、29 ページ）
	逆光で撮影する(☞27､29 ページ)
H	高精細な画質（ハイパー）で撮影する（☞30、31 ページ）
	E メール用の画像を撮影する（☞30、31 ページ）
	夜景を撮影する(☞30､32 ページ)
	ホワイトバランスを固定する（☞30、32 ページ）
／ ※	光学ズーム / デジタルズーム（☞23 ページ）
	電池残量（☞ 次ページ）

※ 表示は例です。

再生時

表示	内容
24※	表示している画像の番号
	表示位置（画像拡大表示時）（☞33、34 ページ）
	E メールで撮影した画像（☞30、31 ページ）
H	ハイパーで撮影した画像（☞30、31 ページ）
	明るさの設定（PRINT Image Matching）（☞40 ページ）
1／10※	表示画像の印刷枚数 / メモリカード内の全印刷枚数（☞38 ページ）
	電池残量（☞ 次ページ）

※ 表示は例です。

電池を入れる

同梱のアルカリ乾電池をカメラに入れます。

ポイント

- 電池を入れるときは必ず、電源をオフにしてください。
- 電池の⊕⊖の向きに注意してカメラに入れてください。向きを間違えると、液もれや発熱などにより、けがや汚損、あるいはカメラが損傷するおそれがあります。

電池カバーを開けます。

電池を入れます。

3 **電池カバーを閉めます。**

電池残量の確認

電源がオンのとき、LCDモニタ上部に表示されるアイコンで電池残量を確認することができます。

また、電池残量が少なくなると、撮影ランプが赤く点灯し、ビープ音が鳴りますので、その場合は電池を交換してください（☞60ページ）。

アイコン	説明
(満)	電池残量は十分にあります。
(半)	電池残量は残り約半分です。 交換用の電池を用意してください。
(少)	電池残量が少なくなっています。 電池を交換してください。

日時をセットする

はじめてお使いになるときに日時をセットします。

ポイント

- カメラの電池を抜いても、設定した日時は約4日間記憶されています（初めて電池を入れてから1日以上経過している場合）。
- 後で日時をセットする（☞52、53ページ）ことや、日付の表示方法を変える（☞52、54ページ）ことができます。
- 電池を長期間抜いておくと、カメラの設定が初期状態に戻ります。その場合は、電源をオンにしたときに、2の画面が表示されますので、日時をセットし直してください。

1 レンズカバーを開きます。

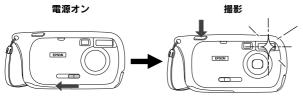
2 日時をセットします。

3 日時のセットが終了したら、C ボタンを押します。

以上でカメラの準備は終了です。次ページからの「簡単な使い方」を読み、撮影をお楽しみください。

使ってみましょう

電池と日時をセットしたら、すぐにカメラを使うことができます。まずは次ページからの手順に従って撮影してみましょう。

1. 撮影する ☞ 次ページ

電源をオンにしたら、シャッタボタンを押すだけで撮影できます。

LCDモニタを見ながら撮影する場合は次ページ、ファインダをのぞいて撮影する場合は20ページをご覧ください。

2. 再生する /1 枚削除する ☞26 ページ

撮影した画像をカメラで再生してみましょう。

LCD モニタで画像を確認しながら、削除することもできます。

撮影する

LCD モニタ撮影

実際に写る範囲やイメージを確認しながら撮影できます。マクロ撮影、デジタルズームはLCDモニタ撮影でお使いください。

1 電源をオンにします。

2 被写体をフォーカスフレームに合わせます。

MENUボタンを押すと、LCD モニタに表示されているアイコンなどを消すことができます。

- 手ブレを防ぐため、以下のように両手でしっかり持ち、わきをしめてカメラを構えてください。

- フラッシュやレンズに手がかからないようにご注意ください。

3 撮影します。

① シャッタボタンを軽く押します（中央にある被写体に自動的にピントが合います）。

② さらに押し込みます。

4

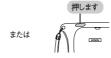
画像を確認します。

約5秒間、撮影した画像が表示されます。すぐに次の撮影を行うには、A ボタンまたはシャッタボタンを押します。

A　B

押します

または

ポイント

プリントボタンを押すと印刷枚数の設定（☞38ページ）ができます。設定が終了したら、A ボタンまたはシャッタボタンを押します。

次の撮影をします。

撮影が終了したら、電源をオフにします。

ファインダ撮影

普通のカメラと同じようにファインダをのぞいて撮影します。LCD モニタ撮影にくらべて電池が長持ちします。

電源をオンにします。

2

ファインダ撮影モードにします。

ファインダをのぞいて、被写体をフォーカスフレームに合わせます。

ファインダをのぞくときは目を近づけてまっすぐのぞいてください。

ポイント

- 手ブレを防ぐため、以下のように両手でしっかり持ち、わきをしめてカメラを構えてください。

<横位置>　　<縦位置>

- フラッシュやレンズに手がかからないようにご注意ください。

撮影します。

① シャッタボタンを軽く押します（中央にある被写体に自動的にピントが合います）。

② さらに押し込みます。

画像を確認します。

約5秒間、撮影した画像が表示されます。すぐに次の撮影を行うには、Aボタンまたはシャッタボタンを押します。

ポイント

プリントボタンを押すと印刷枚数の設定（☞38ページ）ができます。設定が終了したら、Aボタンまたはシャッタボタンを押します。

6 次の撮影をします。

7 撮影が終了したら、電源をオフにします。

撮影したら、カメラで再生してみましょう☞26 ページ

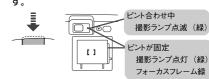
ピントを合わせたい被写体が中央にない場合

被写体が中央にない場合でも、ピントを合わせることができます。

1 被写体をフォーカスフレームに合わせます。

＜ LCD モニタ撮影＞　＜ファインダ撮影＞

フォーカスフレーム

2 シャッタボタンを軽く押し、ピントを合わせます。

シャッタボタンを軽く押したまま、カメラを動かして構図を決めます。

＜ LCD モニタ撮影＞

＜ファインダ撮影＞

シャッタボタンを止まるところまで押し込み、撮影します。

ピッと撮影音が鳴ります。

光学ズーム / デジタルズーム

ズームには、光学ズームとデジタルズームがあります。どちらも以下のように撮影することができます。

望遠（T）ボタンを押すと

- 遠くに離れている被写体を大きく撮影する
- 背景をぼかして人物を浮き出させた撮影をする（ポートレート撮影）
- マクロ撮影で近くの被写体をさらに拡大して撮影する（デジタルズームのみ）

広角（W）ボタンを押すと

- 広がりのある風景などを撮影する
- 近くから遠くまで奥行きのある撮影をする

ズームのしかた

光学ズームはレンズの移動によってズームしています。本カメラは２倍光学ズームレンズを搭載しています。

デジタルズームは画像の中央を中心に拡大しているので、画像は劣化します。光学ズームと併用して５倍ズーム相当の撮影が可能です。LCDモニタ撮影時のみ、光学ズームに引き続きデジタルズームを使用できます。

1 ズームボタンを押すとズームします。

LCD モニタ上部にズームゲージが表示され、アイコンがズームに合わせて移動します。望遠（T）側にズームすると以下のように表示されます。

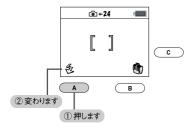
広角（W）⟷ 望遠（T）

2 光学ズームを望遠（T）側にしてから、さらにズームボタン（T）を押すと、デジタルズームになります。

LCD モニタに黄色の枠が表示されます。
LCD モニタ上部にはズームゲージが表示され、アイコンがズームに合わせて移動します。

フラッシュ撮影

本カメラでは自動発光・発光禁止・赤目軽減のフラッシュ撮影が可能です。撮影状況・目的に合わせてフラッシュの設定を変更してください。

1 撮影時にAボタンを押して、フラッシュの設定を変えます。

(自動発光)	被写体の明るさによって自動的に発光します。
(発光禁止)	発光しません。 フラッシュ禁止の場所で撮影するときや、夜景や特殊な効果を出したいときにお使いください。
(赤目軽減)	撮影前にフラッシュが予備発光してから、撮影のためのフラッシュが発光します。 暗い場所で人物を撮影するときに、目が赤く撮影されるのを防ぎます。

フラッシュの届く範囲は 0.5 ～ 3.2m（広角時）、0.5 ～ 2.3m（望遠時）です。

再生する/1 枚削除する

再生する

撮影した画像をカメラで再生します。

1 **▶ボタンを押します。**
最後に撮影した画像が再生されます。

2 **再生をやめるには、▶ボタンを押します。**

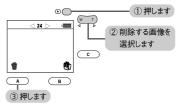
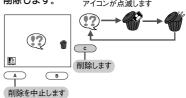
分割表示や拡大表示（☞33、34ページ）することができます。

1 枚削除する

表示している画像を削除します。

1 **削除する画像を選択し、🗑を選択します。**

2 **削除します。**

ポイント

メモリカード内の全画像をまとめて削除することができます（☞33、35 ページ）。

基本機能

「簡単な使い方」で説明した以外にも、本カメラではいろいろな機能があります。

を開くと以下の撮影ができます。

セルフタイマ撮影する（☞次ページ）

三脚を使って、自分を含めた記念写真を撮る場合にお使いください。

マクロ（近距離）撮影する（LCDモニタ撮影時のみ）（☞29ページ左）

花や小さな動物など、被写体に近づいて撮影する場合にお使いください。

逆光で撮影する（☞29ページ右）

背景が明るいため、被写体が暗くなってしまう場合にお使いください。背景と被写体を明るくきれいに撮影できます。

を開く

1 レンズカバーを開きます。

2 を開きます。

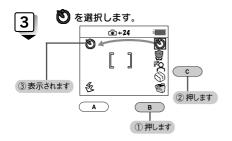
A　B　C

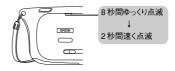
① 押します

以降は各ページの 3 へお進みください。

セルフタイマ撮影

シャッタボタンを押してから 10 秒後に撮影します。

3 を選択します。

4 シャッタボタンを押します。

5 セルフタイマランプが 8 秒間ゆっくり点滅し、次に 2 秒間速く点滅した後、撮影します。

ポイント

- LCD モニタ撮影時は、撮影までの残り時間が LCD モニタに表示されます。
- セルフタイマ撮影を中止するには、再度シャッタボタンを押すか、レンズカバーを閉じてください。
- 三脚を使用するか、カメラを水平で安定した場所に置くなど、カメラを固定して撮影することをお勧めします。

マクロ撮影

近距離（30cm～50cm）で撮影することができます。

ポイント

ファインダ撮影では使用できません。

3 を選択します。

LCD モニタに緑色の枠が表示されます。

4 撮影します（☞19 ページ）。

逆光で撮影する

逆光で被写体が暗いときに、背景と被写体を明るくきれいに撮影します。

ポイント

フラッシュの設定を または にして撮影することをお勧めします（☞25 ページ）。

3 を選択します。

4 撮影します（☞19 ページ）。

便利な機能

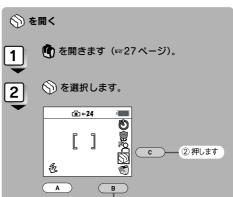
の中の にも、便利な機能があります。
を開くと以下の撮影ができます。

ハイパー（☞次ページ左）
カメラ内の画像処理により、2160×1440ピクセル（記録画素311万画素）の高精細な画像を撮影できます。

Eメール（☞次ページ右）
720×480ピクセルで撮影します。撮影した画像をEメールで送るときや、撮影枚数を増やしたいときなどにお使いください。

夜景を撮影する（☞32ページ左）
夜景をきれいに、明るく撮影したいときにお使いください。夜景を背景にして人物を撮影するときも、人物・夜景ともきれいに撮影することができます。

ホワイトバランスを固定する（☞32ページ右）
白熱電灯など照明の雰囲気を撮影したい場合や夕暮れ時の薄赤い空の色を撮影したい場合など、光の雰囲気を生かした撮影をしたい場合などにお使いください。

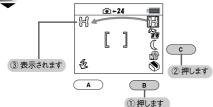
［ハイパー］または［Eメール］の設定をしていない場合は、1800×1200ピクセル（標準）で撮影します。

ハイパー

カメラの画像処理※により、2160×1440ピクセルで撮影します。

※エプソン独自のデジタルカメラ専用画像処理技術Hypict（EPSON Hyper Picture Technology）を用いて出力しています。

ポイント

- 通常の撮影に比べて、画像処理時間が長くなります。
- 画像処理時間、ファイルサイズについては65ページをご覧ください。

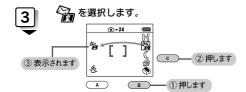
3 を選択します。

4 撮影します（☞19ページ）。

E メール

720×480ピクセルで撮影します。ここでは、画像を撮影してから、Eメールで送信する手順を説明します。

ポイント

- 画像処理時間、ファイルサイズについては65ページをご覧ください。
- ハイパー設定時は を選択できません。ハイパーの設定をやめてから、を選択してください。

3 を選択します。

4 撮影します（☞19ページ）。

5 画像をコンピュータに保存して、Eメールで送信します。

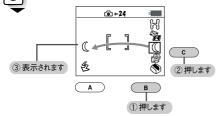
オプションの「パソコン接続キット」を使用すると、画像をコンピュータに保存して、Eメールで送信することが簡単にできます（☞43ページ）。

夜景を撮影する

夜景をきれいに撮影します。

ポイント

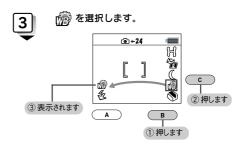
- 手ぶれ防止のため、三脚を使用することをお勧めします。
- 通常の撮影に比べて、画像処理時間が長くなります。
- フラッシュの設定を にすると、夜景・人物をきれいに撮影します。 にすると、夜景のみきれいに撮影します。

3 を選択します。

4 撮影します（☞19 ページ）。

ホワイトバランスを固定する

通常は、撮影時の環境、照明光などの光に合わせて被写体の持つ本来の色で撮影するよう自動的に補正されます。以下のように光の雰囲気を生かした撮影をしたい場合は、ホワイトバランスを固定してください。

- 白熱電灯など照明の雰囲気を撮影したい場合
- 夕暮れ時の薄赤い空の色を撮影したい場合

3 を選択します。

4 撮影します（☞19 ページ）。

再生する

「再生する/1 枚削除する」（☞26 ページ）以外にも、以下のような再生、削除方法があります。

分割表示する（☞ 次ページ左）

複数の画像をまとめて見たい場合にお使いください。

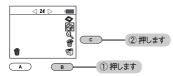
拡大表示する（☞ 次ページ右）

画像を拡大して見たい場合にお使いください。

全削除する（☞35 ページ）

メモリカード内の全画像をまとめて削除したい場合にお使いください。

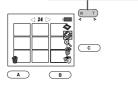
分割表示する

LCD モニタに複数の画像を表示します。

を選択します。

3

複数の画像が表示されます。

左右にカーソルを移動します

4

B ボタンを押して を選択し、C ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。

拡大表示する

画像を拡大して表示します。

を選択します。

3

拡大表示されます。

拡大表示している位置を表します

W T

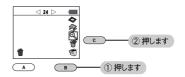
左右に移動します

C

A

B

上下に移動します

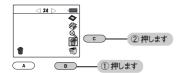
4

C ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。

削除する

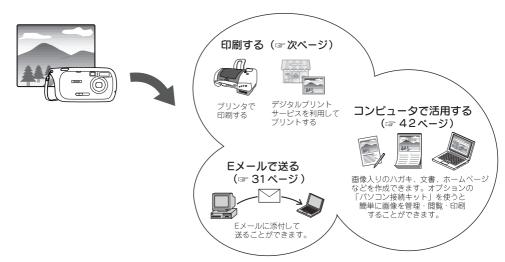
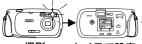
全削除する

メモリカード内の全画像をまとめて削除します。印刷枚数の設定（DPOF）（☞38 ページ）をしてある場合、印刷枚数の設定も削除します。

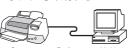
を選択します。

3

全画像を削除します。

こんなことができます

撮影したら、カメラで再生するだけでなく、印刷したりコンピュータで活用してお楽しみください。ここでは撮影後の活用方法の一例を紹介します。

印刷する

撮影

カメラで設定

- 印刷枚数の設定（DPOF）
（☞次ページ）
- 明るさの設定（PRINT Image Matching）
（☞40 ページ）

コンピュータがある

プリンタで印刷する

オプションの「パソコン接続キット」を使うと、コンピュータに簡単に保存でき、便利です。

コンピュータがない

PM-790PT がある→すぐに簡単印刷！！

カメラで設定しておくと、プリント開始ボタンを押すだけで簡単に印刷することができます。

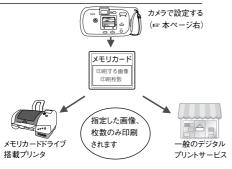
一般のデジタルプリントサービスを利用してプリントする

カメラで設定しておくと、注文時に用紙に記入する必要がなく、簡単で便利です。

印刷枚数の設定(DPOF※)

プリントボタンを押すだけで、簡単に印刷枚数の設定をすることができます。

※DPOFとは、Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するための情報（印刷したい画像とその枚数の指定など）を、コンパクトフラッシュやスマートメディアなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。

印刷枚数の設定(DPOF)から印刷まで

印刷枚数の設定

プリントボタンを押して、印刷する画像と印刷枚数を設定します。

印刷したい画像を表示します（☞26ページ）。

撮影直後に画像を確認しているときも、以下の手順と同様に設定することができます（☞20、21ページ）。

プリントボタンを押して印刷枚数を設定します。

ポイント

メモリカード内の印刷する枚数の合計が99枚を超えた場合は 99+と表示されます。

印刷枚数の設定の削除

印刷枚数の設定を削除するには、以下の2通りの方法があります。

- 表示している画像の設定を削除する
- メモリカード内の設定を全て削除する

表示している画像の設定を削除

ポイント

印刷枚数を変更したい場合は、プリントボタンを押して変更してください（☞ 前ページ右）。

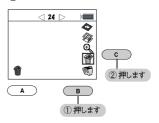
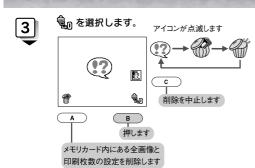
1 再生モードにします（☞33ページ）。

2 を選択し、設定を削除します。

メモリカード内の設定を全て削除

1 再生モードにします（☞33ページ）。

2 を選択します。

3 を選択します。

4 設定を削除します。

アイコンが点滅します

C

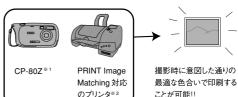
削除を中止します

A

B

削除します

明るさの設定(PRINT Image Matching)

PRINT Image Matchingとは、本カメラで撮影した画像を対応するプリンタで印刷すると、撮影時に意図した通りの最適な色合いで印刷することを可能にしたシステムです。

※1 本カメラで設定する必要はありませんが、好みに応じて画像の明るさを設定することができます（☞次ページ）。

※2 対応プリンタなどの最新の情報は、エプソン販売のホームページ（☞72ページ）、またはエプソンFAXインフォメーション（☞73ページ）でご確認ください。

ポイント

PRINT Image Matchingは、画像データに最適な色合いで印刷するための情報を付加するもので、画像データを直接加工するものではありません。

明るさの設定をする

印刷時の画像の明るさを設定します。

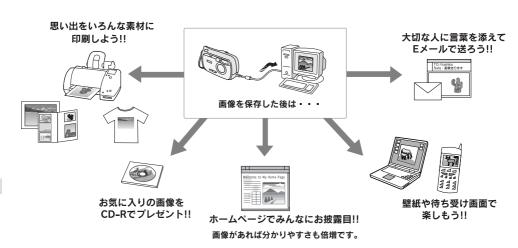
ポイント
確認の目安として画像の明暗が変わります（印刷結果と同じではありません）。

再生モードにし（☞33ページ）、明るさの設定をする画像を表示します。

を選択します。

画像を活用する

画像をコンピュータに保存すると、画像を使っていろんなことができます。

ポイント

市販のアプリケーションが必要となることがあります。

オプション「パソコン接続キット」のご案内

オプションの「パソコン接続キット」を使用すると、画像を自動でコンピュータに保存することができ、画像の管理や印刷も簡単にできて便利です。

簡単操作で、自動保存！！

EPSON Photo!4

カンタン管理・閲覧ソフト

- 一覧表示
- 検索機能
- Eメール用に画像を自動縮小、メールソフトを起動して新規メールに画像を添付
- コンピュータの壁紙作成機能

EPSON PhotoQuicker

カンタン印刷ソフト

- さまざまな用紙、レイアウトに対応
- PRINT Image Matching機能に対応（☞40ページ）

「パソコン接続キット」の仕様、型番については61ページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

現在の症状が以下のどれに当てはまるかを選び、それぞれの参照先をご覧ください。

LCD モニタに注意のメッセージが表示される（☞ 次ページ）

カメラ本体のトラブル（☞46 ページ）

画像の品質上のトラブル（☞49 ページ）

オプション「パソコン接続キット」同梱のソフトウェア使用時のトラブルについては、オプション「パソコン接続キット」同梱の『スタートアップガイド』または『ソフトウェアガイド（電子マニュアル）』をご覧ください。

注 意

- 次のような場合は故障と考えられますので、すぐに電池(AC アダプタ、充電器使用時は電源プラグ)を抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先は72ページをご覧ください。
  - カメラ本体、充電器、AC アダプタが極端に発熱する(非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる
  - 変な臭いや、嫌な音がする、煙が出る
- カメラ内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。 感電のおそれがあります。

故障のとき

カメラ本体には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。エプソンの修理窓口の連絡先は 72 ページをご覧ください。

メッセージ一覧

LCD モニタに以下のアイコンが表示された場合は、原因に応じて次のように対処してください。

LCD モニタ表示	原因	対処方法
	電池の残量がありません。	電池を交換してください(☞60 ページ)。
	メモリカードがセットされていません。	電源をオフにし、メモリカードをセットしてください(☞57 ページ)。
	メモリカードの容量がいっぱいです。	必要な画像はコンピュータに保存するなど、必ずバックアップを取ってから、不要な画像を削除してください(☞26、33、35 ページ)。
	セットしたメモリカードが正常に動作しません。	メモリカードをフォーマットしてください(☞58 ページ)。
	メモリカードにデータを保存中またはメモリカードから読み込み中です(エラーではありません)。	しばらくお待ちください。 保存または読み込みが終わるとメッセージが消えます。
	メモリカード内に画像がありません。	撮影してください(☞19 ページ)。

カメラ本体のトラブル

症状	原因	対処方法
カメラの電源が入らない	電池が正しく入っていますか?	電池の⊕⊖の向きに注意して正しく入れてください（☞16 ページ）。
	電池残量が十分にありますか?	電池を交換してください（☞60 ページ）。
	レンズカバーがしっかり開いていますか?	レンズカバーをしっかり開いてください。
レンズが前に出ない	電源が入っていますか?	上記「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。
シャッタボタンを押しても撮影できない	電源が入っていますか?	上記「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。
	メモリカードがセットされていますか?	メモリカードをセットしてください（☞57 ページ）。
	シャッタボタンを斜めに押していませんか?	シャッタボタンは上からまっすぐ押してください。
	メモリカードの空き容量がありますか?	メモリカードの容量がなくなり、撮影できません。必要な画像はコンピュータに保存するなど必ずバックアップを取ってから、不要な画像を削除してください（☞26、33、35 ページ）。
	撮影ランプが赤色に点灯していませんか?	レンズカバーを閉じて、電源をオフにしてください。 電源をオフにできない場合は、電池および AC アダプタを外し、セットし直してから電源をオンにしてください。それでも赤色に点灯する場合は、カメラの故障と思われますので、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先は 72 ページをご覧ください。
	節電状態になっていませんか?	節電状態からの復帰方法については 55 ページをご覧ください。

症状	原因	対処方法
しばらくすると電源がオフになってしまう	節電状態になっていませんか?	節電状態からの復帰方法については55ページをご覧ください。
撮影に時間がかかる	シャッタボタンを一度に押し込んでいませんか?	シャッタボタンを軽く押してピントを合わせてから、シャッタボタンを押し込んで撮影してください(☞19ページ)。 ※シャッタボタンを一度に押し込んで撮影すると、ピント合わせや露出の決定などの処理を同時に行うため、シャッタボタンを押してから撮影されるまでのタイムラグ(時間の差)が長く感じられます。
フラッシュが発光しない	(発光禁止)に設定されていませんか?	フラッシュの設定を変えてください(☞25ページ)。
	フラッシュの充電中にシャッタボタンを押していませんか?	撮影ランプが緑色に点灯してから撮影してください。
LCDモニタで撮影中、LCDモニタの表示が消える	節電状態になっていませんか?	節電状態からの復帰方法については55ページをご覧ください。

困ったときは

症状	原因	対処方法
LCD モニタに画像が表示されない	電源が入っていますか?	「カメラの電源が入らない」(☞46 ページ)を参照し、対処してください。
	節電状態になっていませんか?	節電状態からの復帰方法については 55 ページをご覧ください。
	カメラとコンピュータを接続していませんか?	オプションの「パソコン接続キット」を使い、カメラとコンピュータを接続しているときは、画像は表示されません。
	ファインダ撮影になっていませんか?	MENU ボタンを押して、LCD モニタに画像を表示させてください。
LCD モニタの縦方向に線が入る	強い光にカメラを向けていませんか?	LCD モニタ撮影時に強い光が入ると、LCD モニタの縦方向に線が見えることがあります。これは CCD の特性により見えるもので、撮影される画像には写りません。

撮影した画像の品質上のトラブル

症状	原因	対処方法
ぼけている、ピントが合っていない	ピント合わせを正しく行いましたか?	本カメラはオートフォーカス機構を搭載しています。シャッタボタンを軽く押すことで、ピントが合います(☞19ページ)。
	被写体からの距離は正しいですか?	通常の撮影では被写体から50cm以上離れて撮影してください。マクロ撮影では、30cm～50cmの距離でピントが合います（☞27、29ページ）。
	レンズが汚れていませんか?	レンズが汚れている場合は、市販のブロアやエアブラシで吹き飛ばすか、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください（☞59ページ）。
	撮影時に手ブレしませんでしたか?	手ブレを防ぐために、脇をしっかり締めてカメラを持ってください。手ブレが心配な場合や、夜景などの暗い場所での撮影は、三脚をお使いください。三脚の仕様については、64ページをご覧ください。
	撮影時にレンズに手を触れませんでしたか?	レンズに無理な力が加わると、正常に撮影できないことがあります。その場合、一旦レンズカバーを閉じて電源をオフにしてから、レンズカバーを開いて電源をオンにしてください。
画像が暗すぎる	フラッシュを使って撮影してください。	フラッシュの設定、届く範囲については25ページをご覧ください。
画像が明るすぎる	強い光源に向かって撮影していませんか?	カメラの向きを変えるなど、撮影方法を工夫してみてください。被写体までの距離が近い場合、フラッシュを(発光禁止)に設定して撮影してください（☞25ページ）。

困ったときは

症状	原因	対処方法
画像の一部が欠けている	レンズをふさいで撮影しませんでしたか?	手、ストラップ、服などで、レンズをふさがないようカメラを正しく構えてください。
	ファインダを正しくのぞきましたか?	ファインダから目を離したり、斜めからのぞくと、意図した構図で撮影できないことがあります。 目を近づけて、まっすぐのぞいてください。
	被写体から近い距離で、ファインダをのぞいて撮影しませんでしたか?	被写体からおよそ1m 以内の近距離でファインダをのぞいて撮影した場合、レンズとファインダの位置の違いにより、ファインダ枠内に収まっていても撮影されない部分があります。 LCD モニタで撮影することをお勧めします。
色がイメージと異なる	ホワイトバランスの設定は正しいですか?	蛍光灯下でホワイトバランスを固定すると、実物より緑がかぶった画像になります。この場合、ホワイトバランスの固定を解除してから撮影してみてください。 以下の場合には、ホワイトバランスを固定する(☞30、32 ページ)と、イメージに近い画像が撮影できます。 • 夕暮れ時などの薄赤い色の雰囲気を生かした撮影をしたい場合 • 白熱電灯など、照明の雰囲気を生かした撮影をしたい場合

お問い合わせいただく前に

「故障かな？と思ったら」の内容をすべて確認しても、現在の症状や不明点が解決できない場合は、内容に応じてそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

各種サービス・サポートについては「サービス・サポートのご案内」（68ページ）をご覧ください。

カメラの故障

電源が入らない、撮影できない、フラッシュが光らないなど、カメラの故障の場合は、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先は72ページをご覧ください。

オプション「パソコン接続キット」使用時のトラブル

カメラとコンピュータの接続方法、ソフトウェアの起動方法、ソフトウェア使用時のトラブルについては、オプション「パソコン接続キット」同梱の『スタートアップガイド』または『ソフトウェアガイド（電子マニュアル）』をご覧ください。

お問い合わせ先については、オプション「パソコン接続キット」同梱の『スタートアップガイド』の裏表紙に記載されています。

カメラの設定を変更する

以下の設定の変更を行います。

日時をセットする（☞ 次ページ）
日時を変えることができます。

操作音・撮影音の設定（☞54ページ左）
カメラの背面のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音や、シャッタボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音の有無を変更することができます（出荷時は撮影音、操作音ともあり）。

メモリカードのフォーマット（☞58ページ）
メモリカードに保存されている全てのデータを消去することができます。

日付の表示方法を変える（☞54ページ右）
「月 / 日 / 年」、「日 / 月 / 年」の順に変えることができます（出荷時は「年 / 月 / 日」）。

設定モードにする

1 レンズカバーを開きます。

2 設定モードにします。

同時に押します

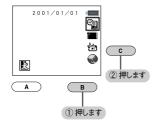
以降は各ページの 3 へお進みください。

日時をセットする

日時をセットします。

ポイント

- カメラの電池を抜いても、設定した日時は約4日間記憶されています（初めて電池を入れてから1日以上経過している場合）。
- 電池を長期間抜いていた場合、カメラが初期状態になります。17ページの手順に従って再度設定し直してください。

3 を選択します。

4 日時をセットします。

5 Cボタンを押して終了します。

操作音・撮影音の設定

カメラの背面のボタンを押したときに鳴る操作音や、シャッタボタンを押したときに鳴る撮影音の有無を変更します。

3 を選択し、設定を変更します。

	操作音	撮影音
	あり	あり
	なし	あり
	なし	なし

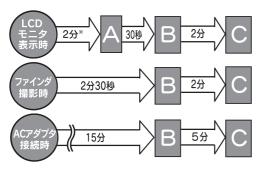
日付の表示方法を変える

日付の表示方法を変えます。

3 を選択し、設定を変更します。

	年 / 月 / 日　（例） 2001/01/30
	月 / 日 / 年　（例） 01/30/2001
	日 / 月 / 年　（例） 30/01/2001

節電について

本カメラは電池の無駄な消費を防ぐために、一定時間カメラを操作しないと節電状態になります。カメラを操作しない時間、カメラの状態、カメラを再度使用するための復帰方法については、以下をご覧ください。

※LCDモニタが消える約3秒前になると、以下のようにカウントダウン表示されます。

3 → 2 → 1 →

カメラの状態	復帰方法
A LCDモニタが消え撮影ランプ点灯 点灯（オレンジ）	・シャッタボタンまたは背面のいずれかのボタンを押す ・USB接続ケーブルを接続する ・（再生時のみ）レンズカバーを開ける
B 撮影ランプ点灯 点滅（オレンジ）	
C 電源オフ 撮影時はレンズが元に戻ります。	レンズカバーを閉めてからレンズカバーを開ける

保存される画像ファイルについて

ファイル連番機能

本カメラで撮影した画像はExif Ver.2.1※準拠のJPEG形式で保存されます。保存される場所、ファイル名についてはDCF※規格に基づいています。

本カメラで撮影した場合、メモリカードに画像専用の［DCIM］フォルダが作成されます。まず最初に［100 EPSON］フォルダが［DCIM］フォルダ内に作成され、画像が保存されます。画像が9999個を超えると、［101 EPSON］フォルダが作成され、画像が保存されます。

※（社）電子情報技術産業協会（JEITA ）で標準化された規格です。Exif はディジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exchangeable image file format)、DCF は「Design rule for Camera File system 」の規格略称です。

- メモリカード内のフォルダ名を変更すると、画像が再生できなくなるなど、カメラが正しく動作しないおそれがありますのでご注意ください。
- フォルダ番号が999、ファイル番号が9999になると、それ以上画像を撮影できません。 その場合は、メモリカードを交換してください。
- コンピュータなどに保存する場合、保存先に同じフォルダ名またはファイル名があると、上書きするおそれがありますのでご注意ください。

メモリカードについて

メモリカードのセット、取り出し、フォーマットの手順について説明しています。

注意

メモリカードは精密な電子部品で作られています。次のような取り扱いや操作は、動作不良や故障の原因になりますので絶対に避けてください。

- 端子部に手や金属で触れないでください。静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。取り扱う前に、接地されている金属に手を触れるなどして、必ず身体に帯電している静電気を放電してください。
- 曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
- 熱・水分・直射日光を避けて使用、保管してください。
- 分解や改造はしないでください。
- カメラの電源を入れたまま、メモリカードのセット・取り出しをしないでください。
- メモリカードのセット・取り出しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください（コンピュータ接続時も含む）。カメラ本体やメモリカードが破損するおそれがあります。

メモリカードをセットする

カメラにメモリカードをセットします。出荷時はカメラにセットされています。

ポイント

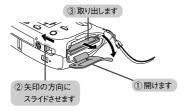
メモリカードの表裏と入れる向きに注意してセットしてください。

1 メモリカードカバーを開け、メモリカードをセットします。

2 メモリカードカバーを閉めます。

メモリカードを取り出す

カメラからメモリカードを取り出します。

1 **メモリカードカバーを開け、メモリカードを取り出します。**

2 **メモリカードカバーを閉めます。**

メモリカードのフォーマット

メモリカードに保存されている全てのデータを消去します。

> **注意** 必要な画像はコンピュータに保存するなど、必ずバックアップを取ってください。

1 **設定モードにします（☞52ページ）。**

2 **■を選択します。**

3 **フォーマットします。**

お手入れ

良好な状態で使っていただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

注意
カメラをお手入れの際は、必ずACアダプタを取り外してください。感電のおそれがあります。

カメラが汚れたときは

本体の清掃

カメラ本体は乾いた柔らかい布などでふいてください。
レンズが汚れたら、市販のブロアやエアブラシで吹き飛ばすか、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
LCDモニタ、ファインダの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

注意
シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。変形・変質するおそれがあります。

電池などの清掃

電池の端子部と、カメラの電池カバー内側の接点部に付着した汚れは、乾いた柔らかい布で、きれいにふき取り、常にきれいな状態でお使いください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は、絶対に使用しないでください。変形、変質するおそれがあります。
カメラの電池セット内部は、絶対にふかないでください。故障のおそれがあります。

カメラを保管するときは

カメラは精密な電子部品で作られていますので、保管場所には十分ご注意ください（☞5ページ）。

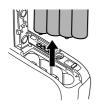
電池の交換・廃棄について

電池を交換する

電池の交換は以下の手順に従ってください。電池残量を確認するには 16 ページをご覧ください。

電池を取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1 電池カバーを開けます。

2 電池を取り出します。

3 新しい電池を入れて、電池カバーを閉めます(☞16 ページ)。

電池を廃棄する際のご注意

不要になった電池は、完全に放電された(使い切った)状態で、⊕極端子にテープ等を貼り付け絶縁してから、地域の条例や自治体の指示に従って処分してください。

また、充電式の電池を処分する場合は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

オプションの紹介

パソコン接続キットには、USB接続用の専用ケーブルとソフトウェア CD-ROM が同梱されています。

商品名	型番	同梱物
パソコン接続キット	CP80ZPCK	• 専用 USB ケーブル • ソフトウェア CD-ROM ［EPSON デジタルカメラ USBドライバ］ ［EPSON Photo!4］ ［EPSON カメラスタータ］ ［EPSON オートダウンローダ］ ［EPSON PhotoQuicker］ 「ソフトウェアガイド（電子マニュアル）」 • 「スタートアップガイド」

「パソコン接続キット」をお買い求めの際は、専用の AC アダプタ（☞次ページ右）も合わせてお買い求めください。

対応コンピュータについて

Windows	Macintosh
USB ポートを標準搭載した以下のシステムのコンピュータ • Windows 98 プレインストールマシン • Windows Me ※ • Windows 2000 ※	USB ポートを標準搭載した Macintosh で Mac OS 8.5.1 以上のシステム

※ Windows 98 プレインストールマシンからのアップグレードも可

バッテリーキット

充電器と充電池のセット、交換用電池として充電池のみをお買い求めいただけます。

商品名	型番	同梱物
バッテリーキット	CPNMBK2	• 充電器 • AC100V 用電源ケーブル • ニッケル水素電池（4 本）※
ニッケル水素バッテリーパック	CPNMBP	ニッケル水素電池（4 本）※のみ

※ ニッケル水素電池は約 500 回の充放電ができます（使用状況により異なります）。

AC アダプタ

電池残量を心配せずにカメラを使用することができます。

商品名	型番	同梱物
AC アダプタ	CPAD4	• AC アダプタ本体 • AC100V 用電源ケーブル

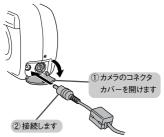
接続の仕方

注意

- 「安全にお使いいただくために」（☞1 ページ）と、AC アダプタに付属の取扱説明書をお読みになった上、正しくお使いください。
- AC アダプタは、必ず「CPAD4」をお使いください。「CPAD4」以外の AC アダプタをお使いになった場合、故障や火災・放電のおそれがあり危険です。
- コネクタカバーは強く引っ張らないでください。破損するおそれがあります。
- 電源ケーブル、AC アダプタ、電源プラグは奥まで確実に接続してください。

1 電源ケーブルを AC アダプタに接続します。

2 カメラの電源がオフになっていることを確認します。

3 AC アダプタを接続します。

4 電源プラグをAC100Vの家庭用電源コンセントに差し込みます。

必ず、壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。

基本仕様

一般

外形寸法(本体) .. 130mm（幅）※x73mm（高さ）x46.7mm（奥行）（突起部分含まず）
※ ストラップ取り付け部を含む最大幅 146mm

重量 .... 265g(電池、メモリカード、ストラップバンド含まず)

電源 .... 単 3 形アルカリ電池（LR6）4 本
単 3 形リチウム電池 4 本
充電式単3形ニッケル水素電池(Ni-MH)4本
充電式単 3 形ニカド電池（Ni-Cd）4 本
（単 3 形マンガン電池は使用できません）

外部電源 .... 専用 AC アダプタ(オプション)

電池寿命 .... LCD 撮影時：145 枚以上
ファインダ撮影時：1000 枚以上
再生時：210 分
※ 測定は当社測定条件によります。本製品に同梱のアルカリ電池（4 本）を使用した場合です。

三脚の仕様 .... JIS B7103 1/4 対応

光学系

CCD .... 1/2.6 型カラーエリア CCD(230 万画素)
正方画素補色フィルタ
有効画素 1806x1206 画素(総画素 1901x1212 画素)

レンズ .... f=5.6mm-11.2mm (35mm-70mm 相当：35mm フィルム換算)
F3.3-F4.6　5 群 6 枚（非球面 2 枚）

絞り .... F3.3/F6.2（広角）、F4.6/F8.6（望遠）

ファインダ .... 実像電動式(視野率 約 85%)

フォーカス .... オートフォーカス

撮影範囲 .... 0.5m ～∞(通常時)
0.3m ～ 0.5m(マクロ時)

シャッタ .... メカニカルシャッタ併用式電子アイリス制御シャッタ

シャッタ速度 .... 1/1000 秒～ 1/8 秒、1/2 秒（夜景モード）

内蔵フラッシュ ... 自動（自動調光オート）/ 発光禁止 / 赤目軽減

露出制御 .... 中央重点測光式プログラムオート(絞り、シャッタ速度可変式)

感度 .... 自動感度切替式(ISO100、フラッシュ使用時 ISO200)

ホワイトバランス .. TTL 方式ホワイトバランスオートモード / 固定モード(色温度 5100K)

画像

カメラファイルシステム .... Design rule for Camera File system (DCF)、DPOF 対応

画像ファイル ...... JPEG 準拠（Exif2.1）

システム
画像サイズ .... 2160x1440 ピクセル(ハイパー)
1800x1200 ピクセル(標準)
720x480 ピクセル(E メール)
色 .... フルカラー(24 ビット)

メモリ

外部メモリ .... CompactFlash Memory Card(コンパクトフラッシュメモリカード)Type I 対応
8MB 同梱(4MB ～ 256MB 対応)
PC-DOS フォーマット 512B/Sector

LCD モニタ

サイズ / 液晶 ...... 1.6 型 D-TFT カラー液晶
画素数 .... 約 5.5 万画素(237x234 画素)
撮影表示 .... TTL 画像再生(再生レート 1/20 秒)
撮影時 視野率 98% 以上
再生時 記録画像 97%以上表示

インターフェイス（外部コネクタ）

DC 電源入力 .... 専用 AC アダプタ用 DC 入力端子
USB 通信 .... 専用 USB インターフェイス
メモリカード .... コンパクトフラッシュカードインターフェイス
CompactFlash Card Type I 対応

画像処理時間

	撮影処理※	再生処理
E メール	約 5 秒	約 3 秒
標準	約 8 秒	約 9 秒
ハイパー	約 15 秒	約 10 秒

※ デジタルズーム時を除く

画像ファイルサイズ / 撮影可能枚数

撮影品質	ファイルサイズ	撮影可能枚数 (同梱の 8MB のメモリカード)
E メール	約 70KB	約 115 枚
標準	約 500KB	約 14 枚
ハイパー	約 700KB	約 10 枚

環境使用条件

温度 .... 5℃～ 35℃(動作時)
-20℃～ 60℃(保存時)
湿度 .... 30％～ 80％(動作時 非結露)
10％～ 80％(保存時 非結露)

索引

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

エプソン FAX インフォメーション

エプソン製品に関する最新情報を24時間FAXでお引き出しいただけます。

FAX付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号：73 ページの一覧表をご覧ください。

情報内容：製品情報（カタログ、機能概要）、技術情報（Q&A 他）、パソコンスクール、サービスセンター情報など

カラリオインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間：72 ページの一覧表をご覧ください。

電話番号：72 ページの一覧表をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネット、パソコン通信による情報の提供を行っています。

- インターネット
  エプソン販売 WWW SERVER：
  http://www.i-love-epson.co.jp
- パソコン通信名
  @nifty パソコン通信サービス※：
  EPSON information Forum
  （コマンド：GO□FEPSONI）□は半角スペースです。

※ @nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE 会員のみ利用可能。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです（東京・大阪）。

受付時間：73 ページの一覧表をご覧ください。

所在地　：73 ページの一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。

エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは 73 ページの一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

◎お買い求めいただいた販売店

◎エプソン修理センター（72ページの一覧表をご覧ください）

受付時間：月曜日～金曜日
（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
9:00 ～ 17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代）

画像のバックアップについてのご注意

カメラの故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であれば画像のバックアップを必ずお取りください。

修理状況によっては、画像が消失してしまうことや、画像を復元できないことがありますが、撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について―注意―

この装置は、情報処理装置電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、
記載もれなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承
ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
この場合、修理等は有償で行います。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア toドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。
【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認下さい。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570ー004116（全国ナビダイヤル）※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）

※携帯電話・PHSからはナビダイヤルはご利用いただけませんので、042-585-8555へお問い合わせください。
※ナビダイヤルとは、NTTの電話サービスの名称です。この番号は全国一律の通話料金でご利用になれます。
通話料金はダイヤル後、接続前にご案内させていただきます。通話料金のご案内の間は通話料金はかかりません。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

●エプソンデジタルカレッジ（スクール）
東京　TEL(03)5321-9738　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム　※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿	〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
	【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア秋葉原	〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
	【開館時間】 水曜日を除く毎日 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋	〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
	【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア大阪日本橋	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
	【開館時間】 水曜日を除く毎日 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2001. 7. 23（A）

EPSON

本製品のお問い合わせ先は、本書 72、73 ページ（本ページ裏）をご覧ください。

PRINT Image Matching は、デジタルカメラによって生成されたイメージのヘッダーに含まれるコマンド（カラーセッティング、イメージパラメータ情報）をベースとした画像処理技術を示します。

PRINT Image Matching の仕様書 Version1.0 に対する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

この取扱説明書は 70%再生紙（表紙は 40%）を使用しています

Printed in Japan 01.xx-xx